

決算補足説明資料

2019年度 第2四半期決算

2019年10月30日

田辺三菱製薬株式会社

証券コード: 4508

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、一部主観的前提を
おいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がござい
ますので、ご了承ください。

医薬品(開発品を含む)に関する情報が含まれていますが、それらは宣伝・広告や医学的なアドバイ
スを目的とするものではありません。



田辺三菱製薬

本資料に関するお問い合わせ

広報部 TEL 06-6205-5211

FAX 06-6205-5105

目次

1	2019年度第2四半期 決算の概要						
	1. 2019年度第2四半期 業績サマリー	2. 2019年度 業績予想サマリー	3. 配当金	2		
2	2019年度第2四半期 連結決算について						
	1. 損益状況				3	
	損益実績				3	
	主要製品売上収益				4	
	2. 財務状況				5	
	資産・負債・資本の状況				5	
	キャッシュ・フロー計算書				6	
	設備投資 / 情報システム開発投資	減価償却費および償却費		7		
	3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数				7	
3	2019年度 業績予想について						
	損益予想				8	
	主要製品売上収益予想				9	
	設備投資 / 情報システム開発投資予想	減価償却費および償却費予想		10		
4	5ヵ年連結財務数値						
	日本基準	損益計算書	貸借対照表	その他財務数値	11	
	IFRS	損益計算書	財政状態計算書	その他財務数値	従業員数	12
5	四半期業績の推移						
	損益計算書				13	
	主要製品売上収益				14	
6	新製品開発状況について(2019年10月25日現在)						
	免疫炎症	糖尿病・腎		15		
	中枢神経	ワクチン		16		
	その他疾患				17	
	2019年度第1四半期決算発表からの変更点				18	
7	その他						
	1. 関係会社				19	
	関係会社数	連結子会社一覧	関連会社およびジョイントベンチャー一覧		19	
	2. 株式の状況				20	
	発行済株式数	大株主の状況	所有者別株式分布状況(単元株)		20	
	配当金 / 株価推移				20	
参考	主要医療用医薬品の解説 / ニュースリリース					21

1 2019年度第2四半期 決算の概要

(億円未満切り捨て)

1. 2019年度第2四半期 業績サマリー

売上収益	1,881 億円	前年同期比	216 億円	10.3 %
国内	1,546 億円	前年同期比	81 億円	5.6 %
海外	334 億円	前年同期比	297 億円	47.0 %

国内医療用医薬品は、関節リウマチなどの治療剤「シンボニー」、2型糖尿病治療剤である3剤「テネリア」、「カナグル」、「カナリア」が順調に伸長したに加え、2018年12月に投薬制限が解除されたアレルギー性疾患治療剤「ルパフィン」の増収、2018年7月よりヤンセンファーマとの販売枠組みを変更したクローン病などの治療剤「ステララ」の寄与などにより重点品が伸長し、前年同期比5.4%増収の1,491億円となりました。

ロイヤリティ収入等は、Novartis Pharma AG(以下「ノバルティス社」)に導出した多発性硬化症治療剤「ジレニア」や Janssen Pharmaceuticals, Inc.に導出した2型糖尿病治療剤「インヴォカナ」および同剤とメトホルミンの合剤に係るロイヤリティ収入の減少などにより前年同期比74.6%減収の92億円となりました。

「ジレニア ロイヤリティ」収入に関しては、2019年2月に、ノバルティス社との間で仲裁手続きに入ったため「ジレニア ロイヤリティ」の一部について、IFRS第15号に従い売上収益の認識を行わないこととしました。当第2四半期連結累計期間におきましても、仲裁手続きが継続しているため、売上収益の認識を行わない結果、減収となりました。当社は、ノバルティス社が契約に従って支払うべきロイヤリティの全額を受領する権利があると主張しており、今後、仲裁において適切にこの権利を追求していきます。なお、「ジレニア ロイヤリティ」について売上収益の認識を行わない部分につきましては、仲裁最終時に、その結果に応じて一括して収益認識されることとなります。

コア営業利益(注)	116 億円	前年同期比	228 億円	66.1 %
-----------	--------	-------	--------	--------

国内重点品は伸長したものの、長期収載品やロイヤリティ収入の減収に加え、前期より引き続き高水準の研究開発費を投じていることから、減益となりました。

(注)当社グループは、IFRSの適用にあたり、会社の経常的な収益性を示す段階利益として「コア営業利益」を導入し、経営管理等の重要指標と位置付けております。「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益(以下、非経常項目)を除外したものです。非経常項目は、事業譲渡による収益、構造改革費用、製品に係る無形資産の減損損失等を想定しております。

営業利益	125 億円	前年同期比	219 億円	63.6 %
税引前四半期利益	121 億円	前年同期比	226 億円	65.1 %
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	83 億円	前年同期比	166 億円	66.7 %

2. 2019年度 業績予想サマリー

売上収益	3,760 億円	前期比	487 億円	11.5 %
コア営業利益	100 億円	前期比	458 億円	82.1 %
営業利益	115 億円	前期比	388 億円	77.1 %
税引前利益	120 億円	前期比	384 億円	76.2 %
親会社の所有者に 帰属する当期利益	50 億円	前期比	323 億円	86.6 %

2019年5月10日に公表した通期業績予想は変更していません。

3. 配当金

	2019年度			2018年度		
	上期末	期末(予想)	年間(予想)	上期末	期末	年間
1株当たり配当金(円)	28	28	56	28	28	56
配当性向	-	-	628.1%	-	-	84.0%

2 2019年度第2四半期 連結決算について

(億円未満切り捨て)

1. 損益状況

損益実績

(単位:億円)

	2019年度上期	前年同期比較			予想比較			主なポイント (前年同期比較)
		2018年度上期	増減額	増減率%	当初予想(注1)	増減額	増減率%	
売上収益	1,881	2,097	216	10.3	1,870	11	0.6	P4「主要製品売上収益」参照
国内	1,546	1,464	81	5.6	1,536	9	0.6	
海外	334	632	297	47.0	333	1	0.5	
海外売上比率	17.8%	30.1%			17.8%			
売上原価	885	861	23	2.8	875	10	1.2	ロイヤリティ収入の減少等による売上原価率上昇
売上原価率	47.1%	41.1%			46.8%			
売上総利益	996	1,235	239	19.4	995	1	0.1	
販管費	468	477	9	1.9	490	21	4.4	
販管費比率	24.9%	22.8%			26.2%			
研究開発費	397	395	2	0.6	445	47	10.6	
研究開発費比率	21.2%	18.9%			23.8%			
製品に係る無形資産償却費	12	14	2	14.5	13	0	3.5	
その他損益(注2)	0	3	2	-	2	1	-	
コア営業利益	116	345	228	66.1	45	71	159.9	
非経常項目(注2)	8	-	8	-	5	3	73.0	
営業利益	125	345	219	63.6	50	75	151.2	
金融収益	5	5	0	4.6				
受取利息・受取配当金	5	5	0	4.3				
金融費用	9	2	7	262.3				
為替差損	7	1	5	338.9				
その他	1	0	1	517.4				
税引前四半期利益	121	348	226	65.1	55	66	120.9	
法人所得税	59	116	56	48.8				
四半期利益	61	231	169	73.3	10	51	518.8	
親会社の所有者に帰属する四半期利益	83	249	166	66.7	40	43	107.9	
総人件費	381	358	23	6.6	384	2	0.6	

(注1) 2019年5月10日に公表した2019年度上期業績予想数値

(注2) 費用・損失の場合に 表示しております。

為替レート

(単位:円)

	2019年度上期 平均レート	2018年度上期 平均レート	2019年度 計画レート
米ドル	108.67	110.71	110.00
カナダドル	81.73	85.08	85.00
ユーロ	120.91	129.78	125.00

* 当第2四半期において、為替レートの変動により、売上収益で約 11億円、コア営業利益で約 +7億円の影響がありました。

主要製品売上収益

(単位: 億円)

	2019年度上期	前年同期比較			予想比較		
		2018年度上期	増減額	増減率%	当初予想(注1)	増減額	増減率%
国内医療用医薬品	1,491	1,415	75	5.4	1,475	15	1.1
レミケード	276	299	23	7.8	269	6	2.4
シンボニー	204	185	19	10.4	212	7	3.7
ステララ	125	47	78	164.1	110	14	13.5
テネリア	80	72	8	12.0	80	0	0.0
カナグル	41	30	10	34.9	46	5	12.2
カナリア	37	30	6	22.2	41	3	9.3
クレメジン	33	33	0	0.4	43	9	22.3
レクサプロ	74	68	6	9.0	74	0	0.6
セレジスト	38	46	8	17.4	45	7	15.5
ルパフィン	24	3	21	551.4	23	1	5.0
タリオン	21	25	3	15.5	27	5	20.8
ワクチン	157	155	1	1.0	144	13	9.2
インフルエンザ	17	9	8	82.1	10	7	71.0
テトラビック	45	41	4	9.7	49	4	8.2
水痘ワクチン	25	26	1	4.6	26	1	5.8
海外医療用医薬品	248	274	25	9.4	241	7	3.0
ラジカヴァ	116	139	22	16.2	110	5	5.3
ヘルベッサ	34	33	1	4.7	35	0	1.7
シンボニー	10	9	0	5.8	10	0	1.6
アルガトロバン	9	10	0	5.8	8	0	9.8
タナトリル	7	8	1	14.1	8	1	14.6
ロイヤリティ収入等	92	363	270	74.6	98	5	6.1
ジレニア ロイヤリティ(注2)	32	299	266	89.1	非開示	-	-
インヴォカナ ロイヤリティ	40	49	8	17.7	非開示	-	-
一般用医薬品	23	22	1	7.0	25	1	6.0
その他(注3)	24	21	3	15.3	29	4	15.3
売上収益合計	1,881	2,097	216	10.3	1,870	11	0.6

(注1) 2019年5月10日に公表した2019年度上期業績予想数値

(注2) 当社は、ノバルティス社との間で仲裁手続きに入ったため、同社から受け取る「ジレニア ロイヤリティ」のうち、同社が契約の有効性について疑義を提起している部分については、IFRS第15号に従い、売上収益の認識を行っておりません。ノバルティス社との仲裁手続き中は、売上収益の認識を行わないという会計処理を継続します。当該公表金額にかかわらず、当社は、ノバルティス社が契約に従って支払うべきロイヤリティの全額を受領する権利があると主張しており、今後、仲裁において適切にこの権利を追求していきます。

(注3) 他社製品の製造受託品等

2. 財務状況

資産・負債・資本の状況

(単位:億円)

	2019年度 上期末	構成比%	2018年度末	増減額	主なポイント
資産	10,558	100.0	10,562	4	
非流動資産	4,657	44.1	4,678	20	
有形固定資産	808	7.7	733	74	設備投資+57億円、減価償却 35億円、IFRS第16号適用による影響+97億円、売却目的への振替 57億円など
のれん	899	8.5	916	17	為替影響による減少など
無形資産	2,037	19.3	2,069	31	為替影響による減少など
持分法で会計処理 されている投資	161	1.5	162	1	
その他の金融資産	416	3.9	462	45	投資有価証券の時価評価による減少など
退職給付に係る資産	226	2.1	214	11	
その他の非流動資産	1	0.0	2	0	
繰延税金資産	106	1.0	116	10	
流動資産	5,901	55.9	5,884	16	
棚卸資産	786	7.4	755	30	
営業債権(注1)	1,143	10.8	1,169	26	
(営業債権回転月数)	(3.65)		(3.35)		
その他の金融資産	2,874	27.2	2,714	159	
その他の流動資産	154	1.5	110	44	
現金及び現金同等物	885	8.4	1,118	233	P6「キャッシュ・フロー計算書」参照
売却目的で保有する資産	57	0.5	16	41	主に戸田事業所売却にかかる資産
負債	1,622	15.4	1,459	163	
非流動負債	734	7.0	542	191	
借入金	1	0.0	1	0	
その他の金融負債	85	0.8	21	64	
退職給付に係る負債	5	0.1	6	0	
引当金	66	0.6	69	2	
その他の非流動負債	204	1.9	51	153	
繰延税金負債	369	3.5	392	22	
流動負債	888	8.4	916	28	
営業債務(注2)	333	3.2	314	18	
その他の金融負債	287	2.7	270	17	
未払法人所得税	29	0.3	95	66	
引当金	24	0.2	16	8	
その他の流動負債	208	2.0	216	7	
資本	8,935	84.6	9,103	167	
資本金	500	4.7	500	-	
資本剰余金	4,496	42.6	4,512	16	
自己株式	10	0.1	10	0	
利益剰余金	3,817	36.2	3,879	61	四半期利益83億円、配当金支払 157億円
その他の資本の構成要素	11	0.1	94	82	
非支配持分	120	1.1	127	6	

(注1) 営業債権には受取手形と売掛金及び貸倒引当金を含みます。

(注2) 営業債務には支払手形(除く営業外支払手形)と買掛金を含みます。

キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

	2019年度上期	2018年度上期	増減額
現金及び現金同等物期首残高	1,118	1,270	151
営業キャッシュ・フロー	194	234	40
税引前利益	121	348	226
減価償却費及び償却費	75	58	16
減損損失戻入益	17	-	17
受取利息及び受取配当金	5	5	0
持分法による投資利益(は益)	0	0	0
営業債権の増減額(は増加)	25	12	38
棚卸資産の増減額(は増加)	38	81	120
営業債務の増減額(は減少)	25	21	46
引当金の増減額(は減少)	5	6	0
退職給付に係る資産の増減額(は増加)	3	0	2
利息・配当金の受取額	5	6	0
利息の支払額	1	1	0
法人所得税の支払額	104	193	89
その他	99	31	131
投資キャッシュ・フロー	219	168	51
定期預金の預入による支出	-	11	11
定期預金の払戻による収入	4	37	33
有形固定資産の取得による支出	64	21	42
有形固定資産の売却による収入	15	0	15
無形資産の取得による支出	24	8	15
投資の取得による支出	2,357	1,476	880
投資の売却及び償還による収入	2,197	1,312	884
子会社の売却による収入	10	-	10
その他	1	0	1
財務キャッシュ・フロー	197	133	63
リース負債の返済による支出	39	0	38
非支配株主からの払込による収入	-	24	24
配当金の支払額	157	157	0
その他	1	0	0
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	11	17	29
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	233	49	184
売却目的で保有する資産への振替に伴う現金及び現金同等物の増減額(は減少)	0	-	0
現金及び現金同等物期末残高	885	1,220	335

設備投資 / 情報システム開発投資

(単位: 億円)

	2019年度上期	2018年度上期	増減額	2018年度
設備投資額 / 発生ベース	57	20	36	68
システム投資額 / 発生ベース	5	9	4	17

2019年度上期の主な設備投資		2019年度上期の主なシステム開発投資	
田辺三菱製薬	7億円	田辺三菱製薬	3億円
メディカゴ	35億円		
田辺三菱製薬工場	10億円		

減価償却費および償却費

(単位: 億円)

	2019年度上期	2018年度上期	増減額	2018年度
有形固定資産(注)	56	36	20	71
無形資産(製品に係るものを除く)	6	7	1	14
製品に係る無形資産	12	14	2	29

(注)IFRS第16号適用の影響を含めております。

3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数

(単位: 億円)

	会社名	田辺三菱製薬工場	ミツビシタナベファーマホールディングスアメリカ	メディカゴ	ニューロダーム	天津田辺製薬	ミツビシタナベファーマコリア
売上収益	2019年度上期	141	149	0	-	29	31
	2018年度	263	339	6	-	58	64
	2018年度上期	133	167	3	-	29	31
営業利益	2019年度上期	12	9	63	49	5	3
	2018年度	16	34	136	77	4	5
	2018年度上期	5	9	49	36	2	3
当期利益	2019年度上期	8	6	63	50	2	3
	2018年度	12	29	137	77	1	4
	2018年度上期	3	7	49	35	1	2
研究開発費	2019年度上期	5	20	64	49	0	-
	2018年度	8	40	142	77	0	-
	2018年度上期	5	20	53	35	0	-
有形固定資産減価償却費	2019年度上期	12	2	3	0	0	0
	2018年度	24	1	5	0	2	0
	2018年度上期	11	0	2	0	1	0
資産合計	2019年度上期末	459	420	399	1,330	59	43
	2018年度末	451	540	389	1,375	56	47
	2018年度上期末	446	471	380	1,410	56	44
資本合計	2019年度上期末	392	230	277	990	33	33
	2018年度末	390	229	263	1,035	32	35
	2018年度上期末	382	212	271	1,056	33	35
従業員数(人)	2019年度上期末	603	263	451	114	523	149
	2018年度末	633	265	421	100	508	143
	2018年度上期末	652	269	365	88	517	143

* 上記財務数値は、内部取引消去前のものです。

3 2019年度 業績予想について

(億円未満切り捨て)

損益予想

(単位:億円)

	2019年度 通期予想(注1)	前期比較			主なポイント(前期比較)
		2018年度 通期実績	増減額	増減率%	
売上収益	3,760	4,247	487	11.5	P9「主要製品売上収益予想」参照
国内	3,083	3,077	6	0.2	
海外	676	1,170	493	42.2	
海外売上比率	18.0%	27.6%			
売上原価	1,785	1,806	21	1.2	製品構成の変化等により売上原価率が上昇
売上原価率	47.5%	42.5%			
売上総利益	1,975	2,441	466	19.1	
販管費	990	982	7	0.8	
販管費比率	26.3%	23.1%			
研究開発費	855	865	10	1.2	
研究開発費比率	22.7%	20.4%			
製品に係る 無形資産償却費	25	29	4	14.8	
その他損益(注2)	5	5	0	-	
コア営業利益	100	558	458	82.1	
非経常項目(注2)	15	55	70	-	
営業利益	115	503	388	77.1	
税引前利益	120	504	384	76.2	
当期利益	40	322	282	87.6	
親会社の所有者に 帰属する当期利益	50	373	323	86.6	
総人件費	745	741	3	0.5	

(注1) 2019年5月10日に公表した2019年度業績予想数値

(注2) 費用・損失の場合に 表示しております。

為替レート

(単位:円)

	2019年度 想定レート	2018年度 平均レート
米ドル	110.00	111.07
カナダドル	85.00	84.47
ユーロ	125.00	128.26

主要製品売上収益予想

(単位:億円)

	2019年度 通期予想(注1)	前期比較		
		2018年度 通期実績	増減額	増減率%
国内医療用医薬品	2,981	2,987	6	0.2
レミケード	515	588	72	12.3
シンボニー	422	374	47	12.6
ステラール	216	152	64	42.4
テネリア	150	152	1	0.9
カナグル	104	67	36	54.4
カナリア	72	74	2	2.7
クレメジン	83	66	16	24.7
レクサプロ	147	140	7	5.6
セレジスト	85	89	4	4.5
ルバフィン	75	34	40	118.7
タリオン	54	64	9	14.6
ワクチン	362	373	10	2.9
インフルエンザ	107	102	5	5.0
テトラビック	100	85	14	17.3
水痘ワクチン	51	51	0	1.7
海外医療用医薬品	496	551	54	9.9
ラジカヴァ	220	270	50	18.6
ヘルベッサー	72	68	3	5.3
シンボニー	20	20	0	4.8
アルガトロバン	17	19	1	6.6
タナトリル	16	15	1	7.4
ロイヤリティ収入等	192	631	438	69.5
ジレニア ロイヤリティ(注2)	非開示	497	-	-
インヴォカナ ロイヤリティ	非開示	105	-	-
一般用医薬品	43	37	5	14.6
その他(注3)	46	39	6	16.2
売上収益合計	3,760	4,247	487	11.5

(注1) 2019年5月10日に公表した2019年度業績予想数値です。なお、2019年10月の消費増税に伴う薬価改定の影響につきましては、売上予想全体としては5月10日の公表値に織り込んでおりますので変更はありません。個別製品の予想につきましては、今回、薬価改定の影響を織り込んだ数値に変更しております。

(注2) 当社は、ノバルティス社との間で仲裁手続きに入ったため、同社から受け取る「ジレニア ロイヤリティ」のうち、同社が契約の有効性について疑義を提起している部分については、IFRS第15号に従い、売上収益の認識を行っておりません。ノバルティス社との仲裁手続き中は、売上収益の認識を行わないという会計処理を継続します。当該公表金額にかかわらず、当社は、ノバルティス社が契約に従って支払うべきロイヤリティの全額を受領する権利があると主張しており、今後、仲裁において適切にこの権利を追求してまいります。

(注3) 他社製品の製造受託品等

設備投資 / 情報システム開発投資予想

(単位:億円)

	2019年度 通期予想	2018年度 通期実績	増減額	増減率%
設備投資額 / 発生ベース	223	68	154	224.9
システム投資額 / 発生ベース	17	17	0	3.8

2019年度の主な設備投資予定		2019年度の主なシステム投資予定	
生産関係設備	197億円	生産関係システム	3億円
(メディカゴ)	(135億円)	研究開発関係システム	4億円
(田辺三菱製薬工場)	(25億円)	その他	10億円
研究開発関係設備	17億円		
その他	9億円		

減価償却費および償却費予想

(単位:億円)

	2019年度 通期予想	2018年度 通期実績	増減額	増減率%
有形固定資産(注)	110	71	38	53.9
無形資産(製品に係るものを除く)	15	14	0	3.6
製品に係る無形資産	25	29	4	14.8

(注)IFRS第16号適用の影響を含めております。

4 5ヵ年連結財務数値

日本基準 (億円未満四捨五入)

損益計算書

(単位:億円)

	2014年度	2015年度
売上高	4,151	4,317
売上原価	1,696	1,558
売上総利益	2,455	2,759
販管費	1,784	1,810
研究開発費	696	753
営業利益	671	949
経常利益	677	948
特別利益	137	141
特別損失	186	246
親会社株主に帰属する当期純利益	395	564

貸借対照表

(単位:億円)

	2014年度末	2015年度末
総資産	9,293	9,302
流動資産	6,036	6,573
固定資産	3,257	2,730
負債	1,289	1,135
流動負債	1,054	913
固定負債	235	222
純資産	8,004	8,167

その他財務数値

(単位:億円)

	2014年度	2015年度
営業キャッシュ・フロー	682	652
投資キャッシュ・フロー	598	266
財務キャッシュ・フロー	219	222
設備投資	157	112
情報システム開発投資	16	9
減価償却費	90	88
自己資本比率(%)	84.9	86.6
自己資本当期純利益率(ROE)(%)	5.1	7.1
1株当たり当期純利益(円)	70.41	100.60
1株当たり純資産(円)	1,406.41	1,436.63

IFRS (億円未満切り捨て)

損益計算書

(単位:億円)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度上期	2019年度予想
売上収益	4,257	4,239	4,338	4,247	1,881	3,760
売上原価	1,558	1,643	1,697	1,806	885	1,785
売上総利益	2,699	2,595	2,641	2,441	996	1,975
販管費	963	983	1,040	982	468	990
研究開発費	646	647	790	865	397	855
コア営業利益	1,069	945	785	558	116	100
営業利益	818	940	772	503	125	115
税引前利益	832	960	787	504	121	120
当期利益	570	689	539	322	61	40
親会社の所有者に帰属する当期利益	593	712	579	373	83	50

財政状態計算書

(単位:億円)

	2015年度末	2016年度末	2017年度末	2018年度末	2019年度 上期末
資産	9,584	9,845	10,484	10,562	10,558
非流動資産	3,082	3,007	4,629	4,678	4,657
流動資産	6,501	6,837	5,855	5,884	5,901
負債	1,321	1,131	1,536	1,459	1,622
非流動負債	332	247	554	542	734
流動負債	989	884	981	916	888
資本	8,263	8,714	8,948	9,103	8,935

その他財務数値

(単位:億円)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度上期	2019年度予想
営業キャッシュ・フロー	808	597	669	414	194	-
投資キャッシュ・フロー	422	105	191	312	219	-
財務キャッシュ・フロー	222	244	325	258	197	-
設備投資	112	126	44	68	57	223
情報システム開発投資	9	18	16	17	5	17
減価償却費および償却費	103	104	115	115	75	150
親会社所有者帰属持分比率(%)	85.1	87.4	84.2	85.0	83.5	-
親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE)(%)	7.4	8.5	6.6	4.2	1.9	-
基本的1株当たり当期利益(円)	105.72	127.03	103.35	66.64	14.83	8.92
1株当たり親会社所有者帰属持分(円)	1,453.71	1,533.91	1,574.26	1,600.64	1,571.99	-

従業員数

(単位:人)

	2014年度末	2015年度末	2016年度末	2017年度末	2018年度末	2019年度 上期末	2019年度末 予想
連結	8,457	8,125	7,280	7,187	7,228	7,100	7,200
単体	4,844	4,780	4,239	4,222	4,111	3,924	3,960

5 四半期業績の推移

(億円未満切り捨て)

損益計算書

(単位:億円)

	2018年度					2019年度		
	第1四半期 4～6月	第2四半期 7～9月	第3四半期 10～12月	第4四半期 1～3月	通期実績	第1四半期 4～6月	第2四半期 7～9月	通期予想 (注1)
売上収益	1,053 24.8%	1,043 24.6%	1,227 28.9%	922 21.7%	4,247 100.0%	981 26.1%	899 23.9%	3,760 100.0%
国内	741 24.1%	723 23.5%	899 29.2%	713 23.2%	3,077 100.0%	807 26.2%	738 24.0%	3,083 100.0%
海外	311 26.6%	320 27.4%	328 28.1%	209 17.9%	1,170 100.0%	173 25.6%	161 23.8%	676 100.0%
売上原価	423	437	530	414	1,806	447	437	1,785
売上原価率	40.2%	42.0%	43.2%	44.9%	42.5%	45.6%	48.6%	47.5%
売上総利益	630 25.8%	605 24.8%	697 28.6%	508 20.8%	2,441 100.0%	533 27.0%	462 23.4%	1,975 100.0%
販管費	231 23.6%	245 25.0%	254 25.9%	250 25.5%	982 100.0%	229 23.2%	238 24.1%	990 100.0%
研究開発費	196 22.7%	199 23.0%	223 25.8%	246 28.5%	865 100.0%	199 23.3%	198 23.2%	855 100.0%
製品に係る無形 資産償却費	7 25.0%	7 25.0%	7 25.0%	7 25.0%	29 100.0%	6 25.9%	6 24.3%	25 100.0%
その他損益(注2)	1 -	1 -	0 -	1 -	5 -	0 -	0 -	5 -
コア営業利益	193 34.6%	151 27.2%	210 37.7%	2 0.5%	558 100.0%	97 97.5%	19 19.5%	100 100.0%
営業利益	193 38.4%	151 30.2%	219 43.6%	61 12.2%	503 100.0%	96 83.7%	29 25.6%	115 100.0%
税引前(四半期)利益	197 39.1%	150 29.9%	217 43.1%	61 12.1%	504 100.0%	92 76.7%	29 24.5%	120 100.0%
親会社の所有者に帰属 する当期(四半期)利益	139 37.4%	110 29.5%	164 44.1%	40 11.0%	373 100.0%	68 137.6%	14 28.7%	50 100.0%

* 各項目(売上原価を除く)の下段は進捗率を表示

(注1) 2019年5月10日に公表した2019年度業績予想数値

(注2) 費用・損失の場合に 表示しております。

主要製品売上収益

(単位:億円)

	2018年度					2019年度		
	第1四半期 4～6月	第2四半期 7～9月	第3四半期 10～12月	第4四半期 1～3月	通期実績	第1四半期 4～6月	第2四半期 7～9月	通期予想 (注1)
国内医療用医薬品	716 24.0%	699 23.4%	876 29.3%	695 23.3%	2,987 100.0%	781 26.2%	710 23.8%	2,981 100.0%
レミケード	151 25.7%	148 25.2%	160 27.2%	128 21.9%	588 100.0%	144 28.0%	131 25.5%	515 100.0%
シンボニー	90 24.0%	95 25.4%	102 27.3%	87 23.3%	374 100.0%	105 24.9%	99 23.5%	422 100.0%
ステララ	2 1.4%	45 30.0%	56 37.3%	47 31.3%	152 100.0%	61 28.6%	63 29.5%	216 100.0%
テネリア	44 29.5%	27 18.0%	39 25.8%	40 26.7%	152 100.0%	47 31.2%	33 22.5%	150 100.0%
カナグル	14 22.2%	15 22.9%	19 29.4%	17 25.5%	67 100.0%	21 20.7%	19 18.6%	104 100.0%
カナリア	14 19.1%	16 22.3%	23 31.1%	20 27.5%	74 100.0%	22 30.5%	15 21.5%	72 100.0%
クレメジン	17 25.5%	16 24.9%	18 27.6%	14 22.0%	66 100.0%	17 21.0%	16 19.3%	83 100.0%
レクサプロ	34 24.4%	34 24.4%	38 27.8%	32 23.4%	140 100.0%	38 26.3%	35 24.1%	147 100.0%
セレジスト	24 27.7%	22 24.6%	24 27.4%	18 20.3%	89 100.0%	21 25.4%	17 19.9%	85 100.0%
ルバフィン	1 5.0%	2 6.1%	5 16.7%	24 72.2%	34 100.0%	12 16.6%	12 16.6%	75 100.0%
タリオン	14 22.3%	11 17.9%	15 24.7%	22 35.1%	64 100.0%	12 22.6%	9 17.2%	54 100.0%
ワクチン	88 23.7%	67 18.1%	148 39.9%	68 18.4%	373 100.0%	73 20.2%	84 23.3%	362 100.0%
インフルエンザ	1 1.1%	10 10.6%	85 83.4%	7 7.0%	102 100.0%	0 0.2%	18 16.8%	107 100.0%
テトラビック	22 25.7%	19 23.0%	23 26.9%	20 24.4%	85 100.0%	23 23.6%	22 21.9%	100 100.0%
水痘ワクチン	14 27.7%	12 23.8%	13 25.7%	11 22.9%	51 100.0%	12 24.8%	12 23.4%	51 100.0%
海外医療用医薬品	129 23.5%	145 26.3%	144 26.3%	131 23.9%	551 100.0%	125 25.4%	122 24.7%	496 100.0%
ラジカヴァ	64 23.7%	74 27.7%	67 25.0%	64 23.7%	270 100.0%	61 27.8%	55 25.0%	220 100.0%
ヘルベッサ	16 24.4%	16 23.9%	17 24.9%	18 26.7%	68 100.0%	17 24.7%	17 23.4%	72 100.0%
シンボニー	4 24.2%	5 25.0%	4 24.8%	5 26.1%	20 100.0%	5 24.5%	5 25.2%	20 100.0%
アルガトロバン	5 29.4%	4 24.5%	5 26.7%	3 19.3%	19 100.0%	4 27.0%	4 27.4%	17 100.0%
タナトリル	3 23.7%	4 30.7%	4 27.1%	2 18.5%	15 100.0%	3 21.7%	3 21.7%	16 100.0%
ロイヤリティ収入等	185 29.3%	177 28.2%	186 29.6%	81 12.9%	631 100.0%	50 26.2%	41 21.6%	192 100.0%
ジレニア ロイヤリティ(注2)	153 30.9%	145 29.3%	147 29.6%	50 10.2%	497 100.0%	16 -	15 -	非開示 -
インヴォカナ ロイヤリティ	24 23.6%	24 23.4%	32 30.5%	23 22.5%	105 100.0%	20 -	20 -	非開示 -
一般用医薬品	12 31.9%	9 26.4%	10 26.8%	5 14.9%	37 100.0%	12 30.0%	10 24.5%	43 100.0%
その他(注3)	10 25.9%	11 28.8%	9 22.9%	8 22.4%	39 100.0%	10 22.0%	14 32.3%	46 100.0%
売上収益合計	1,053 24.8%	1,043 24.6%	1,227 28.9%	922 21.7%	4,247 100.0%	981 26.1%	899 23.9%	3,760 100.0%

* 各項目の下段は進捗率を表示

- (注1) 2019年5月10日に公表した2019年度業績予想数値です。なお、2019年10月の消費増税に伴う薬価改定の影響につきましては、売上予想全体としては5月10日の公表値に織り込んでおりますので変更はありません。個別製品の予想につきましては、今回、薬価改定の影響を織り込んだ数値に変更しております。
- (注2) 当社は、ノバルティス社との間で仲裁手続きに入ったため、同社から受け取る「ジレニア ロイヤリティ」のうち、同社が契約の有効性について疑義を提起している部分については、IFRS第15号に従い、売上収益の認識を行っておりません。ノバルティス社との仲裁手続き中は、売上収益の認識を行わないという会計処理を継続します。当該公表金額にかかわらず、当社は、ノバルティス社が契約に従って支払うべきロイヤリティの全額を受領する権利があると主張しており、今後、仲裁において適切にこの権利を追求していきます。
- (注3) 他社製品の製造受託品等

6 新製品開発状況について(2019年10月25日現在)

免疫炎症

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
MT-5547 (ファシヌマブ)	完全ヒト型抗ヒトNGFモノクローナル抗体製剤 (変形性関節症)	日本 フェーズ 2/3	リジェネロン(米)から導入
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (多発性硬化症)	欧州 フェーズ 2	自社創製品
	(クローン病)	日本 フェーズ 2	
MT-7117	皮膚科用剤 等 (赤芽球性プロトポルフィリン症)	グローバル フェーズ 2	自社創製品
MT-2990	完全ヒト型抗インターロイキン-33(IL-33)モノクローナル抗体製剤 (子宮内膜症)	グローバル フェーズ 2	自社創製品
	(季節性アレルギー性鼻炎)	フェーズ 1	

糖尿病・腎

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
TA-7284 カナグル/インヴォカナ (カナグリフロジン水和物)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	アジア 申請	自社創製品
	(糖尿病性腎症)	欧州 申請(2019年7月)	ヤンセンファーマシューティカルズ(米)へ導出
MP-513 テネリア (テネリグリブチン臭化水素酸 塩水和物)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	日本 フェーズ 3	自社創製品
		アジア 申請	自社創製品
		中国 申請(2019年9月)	
欧州 フェーズ 2			
MT-6548 (バダデュスタット)	低酸素誘導因子プロリン水酸化酵素阻害剤 (腎性貧血)	日本 申請(2019年7月)	アケビア(米)から導入
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (糖尿病性腎症)	欧州 フェーズ 2	自社創製品
		日本 フェーズ 2	
	(非アルコール性脂肪性肝炎: NASH)	日本 フェーズ 2	

アジア: 日本・中国を除く

中枢神経

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
MCI-186 ラジカット/ラジカヴァ (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症: ALS)	アジア 申請	自社創製品
MP-214 (カリブラジン塩酸塩)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト (統合失調症)	アジア 申請	ゲデオンリヒター(ハンガリー)から導入
MT-210	セロニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤 (統合失調症)	米国、欧州 フェーズ 3	ミネルバ・ニューロサイエンス(米) へ導出
MT-5199	小胞モノアミントランスポーター2阻害剤 (遅発性ジスキネジア)	日本 フェーズ 2/3	ニューロクラインバイオサイエンス(米) から導入
ND0612 (レボドパ/カルビドパ)	持続皮下注投与ポンプ製剤 (パーキンソン病)	グローバル フェーズ 3	自社創製品
MT-0551 (イネピリズマブ)	ヒト化抗CD19モノクローナル抗体製剤 (視神経脊髄炎関連疾患: NMOSD)	日本、アジア フェーズ 3	ビエラ・バイオ(米)から導入
MT-8554	TRPM8遮断剤 (糖尿病性末梢神経障害に伴う疼痛)	欧州 フェーズ 2	自社創製品
	(更年期に伴う血管運動神経症状)	グローバル フェーズ 2	
ND0701 (アボモルフィン)	持続皮下注投与ポンプ製剤 (パーキンソン病)	フェーズ 1	自社創製品
MT-1186 (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症: ALS/経口懸濁剤)	フェーズ 1	自社創製品
MT-6345	神経系用剤	フェーズ 1	宇部興産(日)と共同開発
MT-3921	抗RGMa抗体 (脊髄損傷)	フェーズ 1	大阪大学(日)と共同開発

ワクチン

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
MT-2355	5種混合ワクチン (小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、 急性灰白髄炎およびHib感染の予防)	日本 フェーズ 3	阪大微生物病研究会(日)と共同開発
MT-2271	植物由来VLPワクチン (季節性インフルエンザの予防/成人)	カナダ 申請(2019年9月)	メディカゴ(カナダ)品
		米国、欧州 フェーズ 3	
	(季節性インフルエンザの予防/高齢者)	米国、欧州 フェーズ 3	
MT-8972	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H5N1]の予防)	カナダ フェーズ 2	メディカゴ(カナダ)品
MT-7529	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H7N9]の予防)	フェーズ 1	メディカゴ(カナダ)品
MT-5625	植物由来VLPワクチン (ロタウイルス胃腸炎の予防)	フェーズ 1	メディカゴ(カナダ)品

アジア: 日本・中国を除く

その他

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
TAU-284 タリオン (ペボタスチンベシル酸塩)	選択的ヒスタミンH1受容体拮抗・アレルギー 性疾患治療剤 (アレルギー性鼻炎、蕁麻疹)	アジア 申請	宇部興産(日)から導入
MT-4580 オルケディア (エボカルセト)	カルシウム受容体作動剤 (副甲状腺がんおよび原発性副甲状腺機能 亢進症における高カルシウム血症)	日本 申請(2019年4月)	協和キリン(日)へ導出
	(二次性副甲状腺機能亢進症)	中国、アジア フェーズ3	
MT-4129	循環器官用剤 等	フェーズ1	自社創製品
MT-8633/TR1801-ADC	抗c-Met抗体薬物複合体 (固形がん)	フェーズ1	自社創製品 Open Innovation Partners(日)と協業

アジア:日本・中国を除く

2019年度第1四半期決算発表からの変更点

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	前回発表	2019年10月25日 現在	起源/導出先等
MCI-186 ラジカット/ラジカヴァ (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症: ALS)	中国 申請(2019年4月)	中国 承認(2019年7月)	自社創製品
MP-214 (カリブラジン塩酸塩)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト (統合失調症)	アジア 申請	タイ 承認(2019年7月)	ゲデオンリヒター (ハンガリー)から導入
TA-7284 カナグル/インヴォカナ (カナグリフロジン水和物)	SGLT2阻害剤 (糖尿病性腎症)	米国 申請(2019年3月)	米国 承認(2019年9月)	ヤンセンファーマシュー ティカルズ(米)へ導出
		記載なし	欧州 申請(2019年7月)	
MP-513 テネリア (テネリグリブチン臭化水 素酸塩水和物)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	中国 フェーズ 3	中国 申請(2019年9月)	自社創製品
MT-2271	植物由来VLPワクチン (季節性インフルエンザの予防/成人)	記載なし	カナダ 申請(2019年9月)	メディカゴ(カナダ)品
ND0612 (レボドパ/カルビドパ)	持続皮下注投与ポンプ製剤 (パーキンソン病)	グローバル フェーズ 2	グローバル フェーズ 3	自社創製品
MT-0551 (イネビリズムマブ)	ヒト化抗CD19モノクローナル抗体製剤 (視神経脊髄炎関連疾患: NMOSD)	記載なし	日本、アジア フェーズ 3	ビエラ・バイオ(米)から 導入
MT-4580 オルケディア (エボカルセト)	カルシウム受容体作動剤 (二次性副甲状腺機能亢進症)	記載なし	中国、アジア フェーズ 3	協和キリン(日)へ導出
MT-8633/TR1801- ADC	抗c-Met抗体薬物複合体 (固形がん)	記載なし	フェーズ 1	自社創製品 Open Innovation Partners (日)と協業

アジア: 日本・中国を除く

7 その他

1. 関係会社

関係会社数

	2019年度上期末	2018年度末	増減数	特記事項
連結子会社数	33	34	1	減少) 田辺製薬吉城工場
関連会社および ジョイントベンチャー数	1	2	1	減少) サンテラボ・タナベ シミイ
合計	34	36	2	

連結子会社一覧

(2019年9月30日現在)

	会社名	資本金	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	吉富薬品	385百万円	100.0 (-)	3月末	医薬品の学術情報伝達
2	田辺三菱製薬工場	1,130百万円	100.0 (-)	3月末	医薬品の製造・販売
3	田辺三菱製薬プロビジョン	100百万円	100.0 (-)	3月末	医薬品情報に係る業務、経理・総務・人事等の運営に係る業務
4	田辺バルムサービス	10百万円	100.0 (100.0)	3月末	印刷業務、社内郵便業務、オフィスサポート業務
5	ステリック再生医学研究所	1百万円	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
6	ミツビシ タナベ ファーマ ホールディングス アメリカ	USD 167	100.0 (-)	3月末	米国事業の統括
7	ミツビシ タナベ ファーマ ディベロップメント アメリカ	USD 200	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
8	ミツビシ タナベ ファーマ アメリカ	USD 100	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売
9	MP ヘルスケア ベンチャー マネジメント	USD 100	100.0 (100.0)	3月末	バイオベンチャーへの投資事業
10	タナベ リサーチ ラボラトリーズ U.S.A.	USD 3 Mill.	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
11	ミツビシ タナベ ファーマ カナダ	CAD 4 Mill.	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売
12	MTPC ホールディングス カナダ	CAD 641.3 Mill.	100.0 (-)	3月末	メディカグループへの投資
13	メディカゴ	CAD 851.0 Mill.	64.7 (63.0)	3月末	ワクチンの研究開発・製造
14	メディカゴ U.S.A.	USD 99	64.7 (64.7)	3月末	ワクチンの製造
15	メディカゴ R&D	CAD 500	64.7 (64.7)	3月末	ワクチンの研究開発
16	田辺三菱製薬研発(北京)	USD 1 Mill.	100.0 (-)	12月末	医薬品の研究開発
17	天津田辺製薬	USD 16.2 Mill.	75.4 (-)	12月末	医薬品の製造・販売
18	台湾田辺製薬	TWD 90 Mill.	65.0 (-)	3月末	医薬品の製造・販売
19	台田薬品	TWD 20 Mill.	65.0 (-)	3月末	医薬品の販売
20	ミツビシ タナベ ファーマ インドネシア	USD 2.5 Mill.	99.6 (-)	3月末	医薬品の製造・販売
21	ミツビシ タナベ ファーマ シンガポール	SGD 2 Mill.	100.0 (-)	3月末	アセアン事業の統括
22	ミツビシ タナベ ファーマ マレーシア	MYR 5 Mill.	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売
23	ミツビシ タナベ ファーマ タイランド	THB 103 Mill.	100.0 (2.0)	3月末	医薬品の販売
24	ミツビシ タナベ ファーマ コリア	KRW 2,100 Mill.	100.0 (-)	3月末	医薬品の製造・販売
25	ニューロダーム	USD 58,000	100.0 (-)	3月末	医薬品の研究開発
26	ミツビシ タナベ ファーマ ヨーロッパ	GBP 4.6 Mill.	100.0 (-)	3月末	医薬品の研究開発
27	ミツビシ タナベ ファーマ ゲーエムペーハー	EUR 25,000	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売

* 上記以外に連結子会社が5社(内、清算手続中の会社が2社、休眠会社が1社)あります。また、業績連動型株式報酬にかかる信託を連結子会社を含めております。

関連会社およびジョイントベンチャー一覧

(2019年9月30日現在)

	会社名	資本金	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	BIKEN	100百万円	33.4 (-)	3月末	ワクチンを含む生物学的製剤の製造・販売

2. 株式の状況

発行済株式数

	2019年9月末	2019年3月末
期末発行済株式総数	561,417,916	561,417,916
期末自己株式数(注)	631,915	640,305
期末発行済株式数	560,786,001	560,777,611
期中平均自己株式数	637,599	641,042
期中平均株式数	560,780,317	560,776,874

(注) 期末自己株式数には、業績連動型株式報酬にかかる信託が所有する当社株式(2019年9月末200,279株、2019年3月末208,655株)が含まれております。

大株主の状況

順位	株主名	2019年9月末		2019年3月末		
		持株数 千株	持株比率(%)	順位	持株数 千株	持株比率(%)
1	三菱ケミカルホールディングス	316,320	56.39	1	316,320	56.39
2	日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	26,210	4.67	2	26,596	4.74
3	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	13,226	2.36	3	14,679	2.62
4	日本生命保険	12,065	2.15	4	12,065	2.15
5	STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	6,596	1.18	5	7,826	1.40
6	JPモルガン証券	5,888	1.05	14	3,410	0.61
7	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口9)	5,648	1.01	6	4,627	0.82
8	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	4,723	0.84	9	3,928	0.70
9	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口5)	4,645	0.83	7	4,113	0.73
10	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	4,010	0.71	8	4,029	0.72

所有者別株式分布状況(単元株)

	2019年9月末			2019年3月末		
	株主数 名	株式数 千株	構成比(%)	株主数 名	株式数 千株	構成比(%)
金融機関	64	89,424	15.93	74	90,932	16.20
外国法人等	612	97,311	17.34	624	101,801	18.14
個人・その他(注)	28,009	32,699	5.83	24,964	29,762	5.30
その他の法人	293	329,666	58.73	285	330,056	58.80
金融商品取引業者	39	12,201	2.17	44	8,754	1.56
合計	29,017	561,303	100.00	25,991	561,307	100.00
(単元未満株式の状況)	-	114	-	-	110	-

* 1単元の株式数は100株

(注) 個人・その他には、自己株式(2019年9月末431千株、2019年3月末431千株)を含んでおります。

配当金 / 株価推移

(日本基準)	2014年度	2015年度
1株当たり年間配当金(円)	42	46
配当性向(%)	59.6	45.7
(のれん償却前)	(47.6)	(38.8)
期末株価(円)	2,062	1,957
株式時価総額(億円)	11,576	10,987

(IFRS)	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度上期	2019年度予想
1株当たり年間配当金(円)	46	52	66*	56	28	56
配当性向(%)	43.5	40.9	63.9	84.0	-	628.1
期末株価(円)	1,957	2,318	2,080	1,479	1,185	-
株式時価総額(億円)	10,987	13,014	11,677	8,303	6,653	-

* 発足10周年 記念配当(10円)を含む

参考

主要医療用医薬品の解説

レミケード	2002年5月発売	薬効分類	抗ヒトTNF モノクローナル抗体製剤
<p>早く強力な効果と、1回の点滴で8週間効果が持続するという点が特長である。関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)をはじめ、クローン病、潰瘍性大腸炎、尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、ペーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎、強直性脊椎炎、腸管型ペーチェット病、神経型ペーチェット病、血管型ペーチェット病、川崎病の効能・効果を有する。2016年5月には乾癬の用法・用量の追加(増量・投与間隔の短縮)について、2017年5月にはクローン病の用法・用量の追加(投与間隔の短縮)について承認を取得している。</p> <p>オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
シンボニー	2011年9月発売	薬効分類	ヒト型抗ヒトTNF モノクローナル抗体製剤
<p>4週間に1回の皮下注射投与で、長期にわたり継続する優れた有用性を有する。適応症は関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)に加え、2017年3月に潰瘍性大腸炎の効能を追加した。2018年4月より、関節リウマチに対しては、自己注射が可能となっている。また、2019年5月からオートインジェクター製剤を販売している。</p> <p>オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
ステララー	2011年3月発売	薬効分類	ヒト型抗ヒトIL-12/23p40モノクローナル抗体製剤
<p>炎症性サイトカインであるIL-12/23をターゲットとしたモノクローナル抗体で、12週間に1回の皮下注射投与(初回のみ点滴静注投与)で、長期にわたり継続する優れた有用性を有する。2011年3月よりヤンセンファーマから発売。適応症は乾癬に加え、2017年3月にクローン病の効能を追加した。2017年4月より、クローン病の適応についてのみ、当社とヤンセンファーマの両社でコ・プロモーションを展開。2018年7月の販売枠組み変更により、流通を当社に変更し、引き続きクローン病にてコ・プロモーションを実施している。</p> <p>オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
イムセラ	2011年11月発売	薬効分類	多発性硬化症治療剤
<p>多発性硬化症における神経炎症を抑制するファースト・イン・クラスの薬剤である。リンパ球上のスフィンゴシン1リン酸受容体に作用して、自己反応性リンパ球の中樞神経系への浸潤を阻止する。多発性硬化症の薬物治療に対し、経口投与(1日1回)が可能であり、患者さんの負担を軽減する。当社が創製し、ノバルティスファーマと共同で開発を行い当社では製品名「イムセラ」、ノバルティスファーマでは製品名「ジレニア」で販売されている。</p>			
テネリア	2012年9月発売	薬効分類	選択的DPP-4阻害剤 -2型糖尿病治療剤-
<p>当社が創製した初の日本オリジンのジペプチジルペプチダーゼ-4(DPP-4)阻害剤で活性型GLP-1の血中濃度を上昇させることにより、血糖依存的なインスリン分泌促進・グルカゴン分泌抑制をもたらし血糖降下作用を発揮する2型糖尿病治療剤である。</p>			
カナグル	2014年9月発売	薬効分類	SGLT2阻害剤 -2型糖尿病治療剤-
<p>当社が創製したナトリウム-グルコース共輸送体(sodium glucose co-transporter; SGLT)2阻害剤であり、腎臓に存在するSGLT2を阻害することで、尿糖排泄促進作用を通じた血糖低下作用を発揮する。本剤は、米国、欧州、オーストラリアなども含め世界80カ国以上で承認されており、これらの国ではヤンセンファーマが製品名「インヴォカナ」で販売している。</p>			
カナリア	2017年9月発売	薬効分類	選択的DPP-4阻害剤/SGLT2阻害剤 配合剤 -2型糖尿病治療剤-
<p>日本で初めて発売されたDPP-4阻害剤とSGLT2阻害剤を含有する配合剤であり、当社が創製したDPP-4阻害剤「テネリア」とSGLT2阻害剤「カナグル」が配合されている。本剤は、長期にわたる良好な血糖コントロールと服薬錠数が低減されることでアドヒアランスの向上に繋がることが期待されている。</p>			
クレメジン	1991年12月発売	薬効分類	慢性腎不全用剤
<p>高純度の多孔質炭素からなる球形微粒状の経口吸着剤。慢性腎不全時の尿毒症毒素の吸着・除去により尿毒症症状の改善、腎機能低下進展抑制ならびに透析導入の遅延を図る。1991年12月に発売後、2011年4月、第一三共からの販売移管により、当社が販売を開始している。2018年1月に速崩錠を発売している。</p> <p>オリジン・製造販売元:クレハ</p>			
レクサプロ	2011年8月発売	薬効分類	選択的セロトニン再取り込み阻害剤(SSRI)
<p>セロトントランスポーターに高い選択性を持つSSRIで、世界101の国と地域で承認されている。うつ病・うつ状態への優れた有効性と良好な忍容性が認められている。さらに、用法・用量が簡便であることから抗うつ薬治療で重要な服薬アドヒアランスの向上が期待される。2015年11月に社会不安障害(SAD)適応の承認を取得している。</p> <p>オリジン:ルンドベック(デンマーク)、製造販売元:持田製薬</p>			

ラジカット (ラジカヴァ)	2001年6月発売	薬効分類	フリーラジカルスカベンジャー
<p>日本で開発された世界初の脳保護剤であり、脳梗塞急性期の患者における神経症候、日常生活動作障害、機能障害(退院時の後遺症の程度)を改善する。脳梗塞の3つの主要病型(ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症)いずれにも適応がある。発症後24時間以内に投与を開始し、投与期間は14日以内。2010年5月には点滴静注バッグを発売した。</p> <p>筋萎縮性側索硬化症(ALS)を適応として2005年6月にオーファンドラッグに指定され、2015年6月に承認を取得した。</p> <p>海外では、韓国(2015年12月)、米国(2017年5月)、カナダ(2018年10月)、スイス(2019年1月)および中国(2019年7月)で承認を取得している。</p>			
セレジスト	2000年9月発売	薬効分類	脊髄小脳変性症治療剤
<p>脊髄小脳変性症における運動失調を改善する甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH)の誘導体である。本剤が発売されるまでは注射剤のみであったが、自社技術により経口投与を世界で初めて可能にした。2009年10月に口腔内崩壊錠を発売している。</p>			
ルパフィン	2017年11月発売	薬効分類	アレルギー性疾患治療剤
<p>ルパフィンは、抗PAF作用と抗ヒスタミン作用を併せ持つ新しい作用機序のアレルギー性疾患治療剤である。本剤は、PAFとヒスタミンの2つのケミカルメディエーターを抑えることにより、即時型ならびに遅延型アレルギー症状の抑制が期待できる薬剤として開発され、「アレルギー性鼻炎」および「蕁麻疹」「皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒」の効能を有している。</p> <p>オリジン: コリアック(スペイン)、製造販売元: 帝國製薬 PAF(platlet activating factor): 血小板活性化因子</p>			
タリオン	2000年10月発売	薬効分類	選択的ヒスタミンH1受容体拮抗・アレルギー性疾患治療剤
<p>抗ヒスタミンH1作用の発現が早くみられ、アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒に早期から高い効果を発揮する。一方で、眠気の発現頻度が低い。2007年7月に口腔内崩壊錠を発売し、2015年5月に小児(7-15歳)適応の承認を取得している。</p> <p>オリジン: 宇部興産</p>			
インフルエンザ ワクチン	1972年9月発売	薬効分類	ウイルスワクチン類
<p>季節性インフルエンザの予防に用いられる。2015年より、これまでの3価ワクチンから4価ワクチンに変更されている。</p> <p>オリジン・製造販売元: 一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			
テトラビック	2012年10月発売	薬効分類	ワクチン・トキソイド混合製剤
<p>百日せき、ジフテリア、破傷風および急性灰白髄炎の予防に用いられる。既存のDPTワクチンに不活化ポリオワクチン(IPV)を混合した4種混合ワクチン。定期接種1期初回(3回)および1期追加(1回)の計4回接種に使用される。IPVは急性灰白髄炎(ポリオ)の予防のみならず、従来の生ポリオワクチン投与により極めて稀に発生するワクチン関連麻痺の解決が期待されている。</p> <p>オリジン・製造販売元: 一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			
水痘ワクチン	1987年3月発売	薬効分類	ウイルスワクチン類
<p>水痘および50歳以上の者に対する帯状疱疹の予防に用いられる。2014年に水痘(みずぼうそう)の予防として定期接種化された。また、2016年に、50歳以上の者に対する帯状疱疹の予防に関する効能・効果が承認されている。</p> <p>オリジン・製造販売元: 一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			
ミールビック	2005年12月発売	薬効分類	ウイルスワクチン類混合製剤
<p>麻疹および風しんの予防に用いられる。定期接種1期、2期で使用される。1回の接種で麻疹と風しんの両方の免疫を獲得できることから、被接種者(保護者)や医療関係者の負担軽減、麻疹および風しんの予防接種率向上に寄与している。</p> <p>オリジン・製造販売元: 一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			
ジャービックV	2009年6月発売	薬効分類	ウイルスワクチン類
<p>日本脳炎の予防に用いられる。製造過程におけるウイルスを増殖させる宿主として、Vero細胞を使用した乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン。定期接種1期、2期で使用される。本剤は製造過程でマウス脳を使用しないため、副反応(ADEM: 急性散在性脳脊髄炎)軽減が期待されている。</p> <p>オリジン・製造販売元: 一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			

ニュースリリース

2019年4月以降の主なニュースリリースは、下記の通りです。詳細は、ホームページ(<https://www.mt-pharma.co.jp/release/index.php>)をご覧ください。

発表日	内容
2019年 4月10日	モジュール型製造装置を連結したコンパクトの連続生産設備「iFactory」の開発事業を加速 ~ 医薬品原体の生産量を柔軟に変更できるオンデマンド生産の実現に貢献 ~ (高砂ケミカル、コニカミルタケミカル、横河ソリューションサービス、テックプロジェクトサービス、大成建設、島津製作所、三菱化工機との共同発表)
4月11日	研究、生産・技術拠点再編のお知らせ
4月15日	世界のALS患者さんへ 日本発のALS治療薬を届けたい 中国の国家薬品监督管理局(NMPA)がALS治療薬(ラジカット)の申請を受理
4月26日	自己免疫疾患治療剤MT-1303に関するSalixへの権利許諾に係わるライセンス契約締結について
5月29日	「シンポニー皮下注50mgオートインジェクター」新発売のお知らせ
5月30日	ALS治療薬(エダラボン)の欧州申請を取り下げ
7月11日	日本腎臓病協会と田辺三菱製薬による共同事業契約の締結について ~ 健康寿命を損なう要因の一つである腎臓病克服をめざして ~ 慢性腎臓病患者は成人の約8人に1人(約1,330万人)(日本腎臓病協会推計)(NPO法人日本腎臓病協会と共同発表)
7月23日	腎性貧血治療剤バダデュスタット(MT-6548:HIF-PH阻害剤) 国内での製造販売承認申請に関するお知らせ
8月2日	「ブラチナくるみん」認定取得のお知らせ ~ 育児支援および働き方改革の取り組みが評価 ~
8月6日	血友病Bに対する遺伝子治療用製品の研究開発に着手(学校法人自治医科大学と共同発表)
8月7日	日本発のALS治療薬(エダラボン)が中国国家薬品监督管理局(NMPA)より承認取得
8月8日	統合失調症治療剤「カリブラジン」(MP-214)についてアセアン(シンガポールおよびタイ)における承認を取得
8月8日	MT-3921について脊髄損傷患者さんを対象とする第1相臨床試験計画を米国FDAに提出(国立大学法人大阪大学と共同発表)
8月28日	パーキンソン病患者を対象としたレボドパ/カルビドパ持続皮下注製剤「ND0612」第3相臨床試験開始について
9月4日	HGF遺伝子治療用製品「コラテジェン筋注用4mg」新発売のお知らせ(アンジェスと共同発表)
9月17日	ALS治療薬「エダラボン」のブラジルにおける提携のお知らせ(第一三共と共同発表)
9月20日	難病患者団体支援活動「田辺三菱製薬 手のひらパートナープログラム」第8期 助成団体募集のお知らせ
9月20日	田辺三菱製薬と参天製薬が、抗アレルギー点眼剤「アレジオン点眼液0.05%」、「アレジオンLX点眼液0.1%」に関する共同販売促進契約を締結
9月24日	中国の国家薬品监督管理局が2型糖尿病治療剤(泰里安/TENELIA)の申請を受理
9月30日	グローバルヘルス技術振興基金(GHIT Fund)を通じた新たなスクリーニング・プログラムへの参画 - 開発途上国に蔓延する感染症の治療をめざして -
10月2日	季節性インフルエンザの予防をめざした植物由来VLPワクチン(MT-2271)の承認申請受理(カナダ)のお知らせ
10月7日	社外取締役の異動に関するお知らせ
10月9日	視神経脊髄炎関連疾患治療薬イネピリズムブに関する米国ビエラ・バイオ社とのライセンス契約締結のお知らせ
10月11日	LGBTに関する取り組みを評価する「PRIDE指標」で 最高位「ゴールド」を受賞
10月16日	令和元年台風第19号に伴う災害に対する義援金について
10月25日	バダデュスタット(MT-6548)の腎性貧血患者を対象とした国内第3相臨床試験結果を米国腎臓学会で発表予定